第 41 回　技法研修会（中級）　2021 年 3 月 7 日(日)

「催眠現象とその治療的応用」及び「催眠の臨床適用の実際」

みなさまご存じの通り、新型コロナの影響により、多くの学術学会の 2020 年度大会や研修会は通常の開催が困難となり、延期や中止もしくは web による遠隔開催などでの実施となっております。2021 年になっても再び非常事態宣言が出るなどはいまだ収束は見えません。臨床実践を主とする本学会ではこのような中でどのような形で研修を継続し臨床における技量向上を維持するかについて議論を行って参りました。その上で技法研修会の中級を web を介して開催することといたしました。

研修内容の概要

第 41 回研修会は本学会初のオンライン研修となりますが、今回の中級研修では、臨床催眠研修課程の中から、「A.2. 催眠現象とその治療的応用」と「A12. 催眠の臨床適用」について行います。

基本的な催眠誘導技術が身についたとしてもそれをどのようにして臨床で活用するかが分からず実践することに躊躇するという意見を多く耳にいたします。改めて、臨床実践の際の注意点について、拙著「催眠心理面接法」（金剛出版）及び「精神療法の適応・効果とその限界－催眠療法」（科学評論社　月刊『精神科』vol.38）を参考に研修を進めたいと思います。その中では、催眠療法の臨床実践に向けて、いかなる場面でどのように適用するか、そして、適用効果とその限界について詳しく述べる予定です。

オンライン研修なので、デモンストレーションは映像による配信になりますが、初級で学んだ伝統的な催眠誘導技法だけでなく、臨床実践の際に役立つ治療関係に配慮した誘導技法も併せて示す予定です。そのため臨床実践の際に活用できる具体的なものをじっくり見ていただけるのではないかと思います。催眠療法の治癒機制に関する近年の国際学会での見解は、第一に治療者―患者間の関係性（relationship）、そして、第二にその関係性の中で得られる催眠状態（トランス）、特に、解離的側面（dissociation）が有効であるとされています。そうした国際的な見解を意識した研修にしたいと考えています。

相互実習においては、その暗示文の具体的な作成についてファシリテーターの指導を得ながら行います。

倫理研修では、今回は通常の倫理的内容に加え、特に催眠臨床実践の際のインフォームドコンセント，スーパービジョンについて倫理委員会の担当で行います。

（講師　松木繁先生）

第 41 回　技法研修会（中級）　2021 年 3 月 7 日(日)

「催眠現象とその治療的応用」
及び「催眠の臨床適用の実際」

講師：松木繁先生

スケジュール

2021 年 3 月 7 日（日）第 41 回技法研修会の内容の詳細です。

時間	内容
9:00～ 9:30	zoom 入室
9:30～10:30	講義 1「催眠現象とその治療適用」
10:30～10:40	休憩
10:40～12:00	講義 2（「催眠の臨床適用－誘導暗示の使い方，暗示文の作成」
12:00～13:00	昼休憩
13:00～14:50	デモンストレーションと解説（デモ映像視聴とその解説） （被験者 2 名・伝統的誘導と関係性を重視した誘導・複数の誘導法）
14:50～15:00	休憩
15:00～16:00	小グループディスカッション（ブレイクアウトルーム使用）
16:00～17:00	催眠臨床の倫理　「インフォームドコンセント」「スーパービジョン」 質疑応答

研修時間：390 分

主催：日本臨床催眠学会【 Japanese Society of Clinical Hypnosis (JSCH) 】

学会 HP：http://www.hypnosis.jp/

学会事務局　連絡先
住所 〒162-0801　東京都新宿区山吹町 358-5　アカデミーセンター
TEL 03-6824-9374　FAX 03-5227-8631